



平成 28 年 9 月 13 日

各 位

会 社 名 セイコーホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 中村 吉伸  
 (コード番号 8050 東証第 1 部)  
 問合せ先 取締役経理部長 瀧沢 観  
 (TEL 03-3563-2111)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 10 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期の連結業績予想の修正

(1) 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (金額単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回業績予想 (A)	140,000	8,000	8,000	5,000	24.20 円
今回修正予想 (B)	120,000	2,800	1,700	△800	△3.87 円
増減額 (B-A)	△20,000	△5,200	△6,300	△5,800	—
増減率 (%)	△14.3	△65.0	△78.8	—	—
(ご参考) 平成 28 年 3 月期第 2 四半期	151,541	11,330	11,300	7,519	36.39 円

(2) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (金額単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回業績予想 (A)	290,000	12,000	12,000	10,000	48.39 円
今回修正予想 (B)	260,000	5,000	4,000	3,000	14.52 円
増減額 (B-A)	△30,000	△7,000	△8,000	△7,000	—
増減率 (%)	△10.3	△58.3	△66.7	△70.0	—
(ご参考) 平成 28 年 3 月期	296,705	13,307	11,879	12,142	58.76 円

2. 修正の理由

当連結会計年度の第 1 四半期は、為替環境が当初想定よりも円高で推移したことやウオッチムーブメント市況の悪化、インバウンド需要の変調を含むウオッチ国内向け売上の伸び悩みなどのため、厳しいスタートとなりました。また、第 2 四半期以降もこの状況が長引く懸念が強まり、さらにウオッチ米国市場の立ち直りが遅れていることから短期的な業績の回復は難しいと判断し、通期および第 2 四半期連結業績見通しを修正いたします。なお、業績見通し作成の前提となった想定為替レートは USD1=100 円、Euro1=115 円であります。

修正後の通期セグメント別業績予想は下記のとおりです。

【通期セグメント別業績予想】

単位：億円

	売上高		営業利益	
	今回予想	前回	今回予想	前回
ウォッチ事業	1,380	1,600	60	120
電子デバイス事業	820	900	20	30
システムソリューション事業	220	200	12	10
事業別合計	2,420	2,700	92	160
その他	270	290	6	10
連結合計	2,600	2,900	50	120

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去など、連結調整後の数値です。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の環境変化等の要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上